令和7年度 kureha youth outdoor learning center

富山県呉羽青少年自然の家

利用ガイドII

～活動計画編～

富山県呉羽青少年自然の家

〒930-0143　富山県富山市西金屋字長尾8194

TEL : 076-434-1908　FAX : 076-434-1942

Email：info@kureha-ie.jp

HP：https://www.kureha-ie.jp/

ホームページ,Email,各種SNSは
上記２次元コードよりご確認ください。

1　活動計画の立案について（利用団体責任者・連絡責任者・指導者様へ）

(1)　安全指導の徹底を（利用団体責任者は、緊急判断・応急処置のため必ず帯同してください）

◆　大雨、落雷、強風、熱中症等が予測される際、活動実施判断には細心の注意を払ってください。
◆　食物アレルギー対応票の提出にて、あらかじめ食物アレルギー・食事制限のある利用者の情報をお寄せください。また利用中に、急な発熱、嘔吐、下痢などの症状が出た場合は、直ちに事務室へ連絡してください。
◆　事故等の緊急事態の発生時は、利用団体責任者が適切に対応される（緊急車両の要請は携帯電話等で行われてかまいません）とともに、本所事務室へお知らせください。
◆　非常災害に備えて、入室後すみやかに非常口と避難経路、消火器の位置をご確認ください。
◆　駐車場付近やオリエンテーリングのコースの一部に一般道を使用しています。交通規則の遵守・事故防止等の指導をお願いします。
◆　子供だけで単独行動をとらないように、事前・活動中の指導をお願いします。
◆　野外活動は体温調整・防災ができる服装・履物での活動を基本とします。異常気象や自然災害から身を守る備え（帽子や雨具、長靴、避難時の内履等の携行）をお願します。
◆　敷地内やコースには危険な生き物（スズメバチ、毒ヘビ、毛虫等）がいます。むやみに触ろうとしたり、草むらの中に入ったり、いたずらに騒いだりしないよう指導してください。
◆　屋外の斜面、用水、池、屋内の２段ベッド、窓、階段、手すりなど、転倒、転落防止のための安全指導をお願います。
◆　施設・設備の破損及び損傷のないよう指導や配慮をお願いします。

(2)　活動プログラムの実施・指導では

◆　**貴団体の利用目的の達成**に向けて、**利用者の実態に合った活動プログラムを展開**してください。
◆　**活動の直接指導は利用団体の引率者が行います。**本所所員の説明や支援が必要な場合は、利用申込書にご記入ください。
◆　野外活動は自然条件に左右されるので、荒天時の代替プログラムを計画してください。
◆　過密なプログラムは避け、活動時間を十分に確保することをお勧めします。
◆　事前に傷害保険に加入されることをお勧めします。
◆　活動プログラム（次ページから）標記している「難易度（A～E)」は、標準的な体格・体力をもつ幼児～小中学生を想定しています。利用団体の実態に応じてご判断願います。

A	幼児向け
B	幼児～小学校低学年
C	小学校低学年から中学年
D	小学校中学年から高学年以上
E	特別な指導を要するもの

例・小刀や竹鋸を使用できる等の技能が必要なもの
・少人数か多人数、グループ数などの規模によるもの
・本所独自の工程や用具を使用するもの　等

(3)　実地踏査（下見）と事前の打合せは必ず行いましょう

◆　**利用目的を達成するため**各団体の創意工夫のある**主体的な活動**が展開されることを期待しています。実際に施設や活動場所、自然環境等を下見の上、内容の打合せをされることをお勧めします。
◆　**打合せでは**以下の内容と、上記(1)　(2)**が配慮されているかを確認します。**

①宿泊か日帰りか　②利用人数（男女・年齢区分・利用日別）③入所・退所の時刻　④食堂食数、注文数等
⑤交通手段（駐車車両台数）⑥活動プログラム（内容・準備物・場所・荒天時の代替プログラム・**他の団体との調整**など）⑦宿泊室・食堂・浴室★　の割当て　⑧諸経費（支払いの方法）⑨健康・安全対策　⑩携行品　など
★キャンプ場泊は原則浴室使用（入浴）不可。館内宿泊利用者がいる場合は入浴可能な場合があります。

◆下見と打合せの予約について
・**一般の団体の場合**：利用日の 30 日前までを目途に、必ず電話で予約してください。
・**学校団体利用の場合**：**合同打合せ会**を設けています（別途本所より連絡します）のでご参加ください。
個別に下見・打合せをされる場合は必ず電話で予約してください。

2　活動プログラムについて

(1) 式や集い、生活オリエンテーション

活動名	活動の概要	所要時間	利用者準備	自然の家備品	所員説明
入所式・退所式 朝、夕べの集い	実施は各団体でご判断ください（必ず実施する必要はありません）。	必要時間	必要 携行品	旗掲揚塔 音響セット	必要な場合のみ
生活オリエンテーション（宿泊時必須）	宿泊に関わる施設の使い方、生活の仕方について所員より説明を受ける。	5～20 分	(事前指導)		○

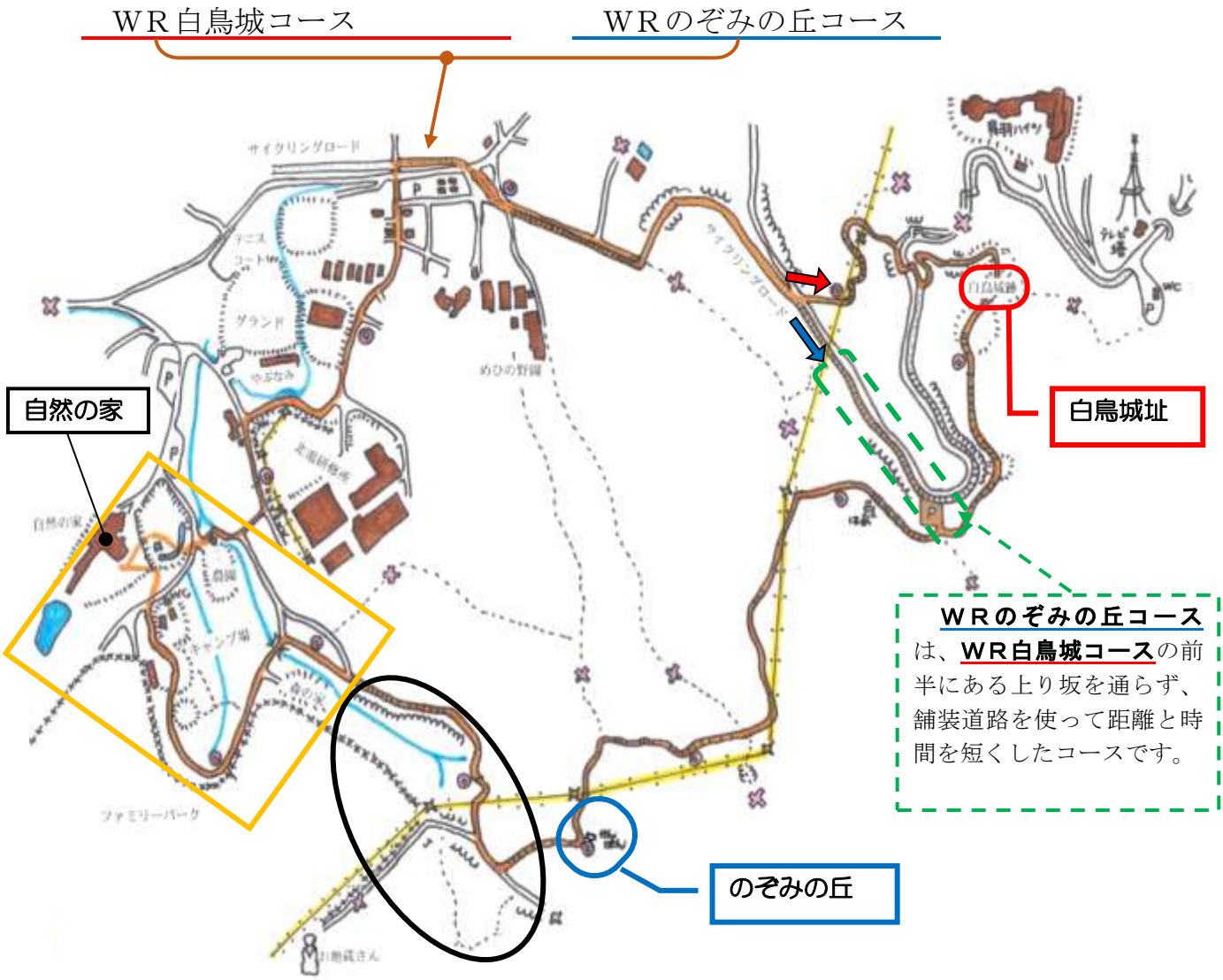
(2)　野外活動

◎呉羽丘陵、所の周辺の森を歩く活動　（活動時期：主に春～秋）

WR（ｳｫｰｸﾗﾘｰ：コース図を見ながらﾎﾟｲﾝﾄを順番に回る）　**ＯＬ**（ｵﾘｴﾝﾃｰﾘﾝｸﾞ：コース図のﾎﾟｲﾝﾄを回る順番を自分たちで決めて回る）

活動名		難易度	活動の概要	目安の所要時間	引率者数	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
WR	白鳥城コース	D	地図を見てA～Kの赤色のポイントを見つけ、白鳥城に関する問題に答える。	2～3時間	5人以上	筆記用具 水筒 帽子 軍手 雨具 タオル 虫よけ	ﾄﾗﾝｼｰﾊﾞｰ8台 地図（1ｸﾞﾙｰﾌﾟにつき1枚程度） 解答用紙 ﾊﾞｲﾝﾀﾞｰ ビブス	○	－
	のぞみの丘コース	D	地図を見てA～Jの青色のポイントを見つけ、のぞみの丘に関する問題に答える。	2～2.5時間	5人以上			○	－
OL	森の木（中級）	D	地図を見てA～Jの赤い札を見つけ、木の名前と特徴を記入する。その後、①～⑩の木を見つけ、記入した特徴をたよりに木の名前を当てる。	2～3時間	4人以上			○	－
	森の木（初級）	C	地図を見てA～Jの赤い札を見つけ、木の名前と特徴を記入する。	1～2時間	3人以上			○	－
	森の動物クイズ	C	地図を見て①～⑫のポイントを見つける。ポイントでは、示されている呉羽丘陵に住む動物の名前とその動物に関するクイズの答えを記入する。	1～2時間				○	－

ＷＲ白鳥城コース・のぞみの丘コース、森の木ＯＬ（初・中級）、森の動物ＯＬコース地図



：森の木（初級）
：森の動物ＯＬ

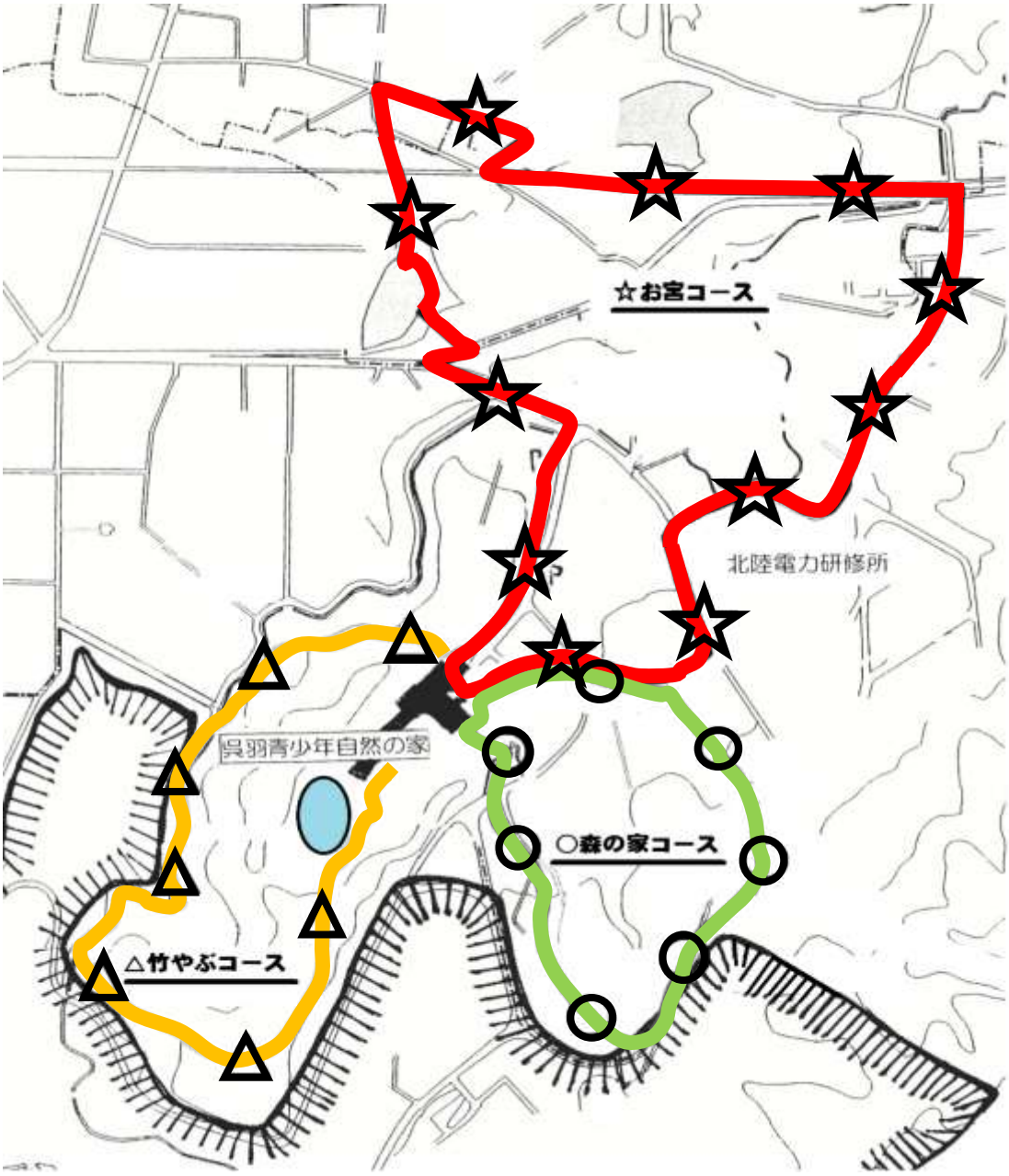
：森の木（中級）
※森の木（初級）を回った後

参考：令和７年の夏至６月21日　日没19時13分ごろ

活動名	活動の概要	難易度	所要時間	引率者数	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
星空観察	四季の代表的な星座や月などを観察する。	A～	１時間	適宜	（星座早見板）	なし	なし	―
	活動例１：グラウンドに大きなブルーシートを広げ、寝ころがって星空を観察する。 活動例２：星座早見板の使い方を学習し、班ごとに夏の星座や冬の星座を観察する・「小学校４年生理科」 活動例３：富山県天文学会の「移動天文教室」等を宿泊学習等の活動計画に取り入れる。※利用団体からの直接申込みとなります。							

活動名	活動の概要	コース	難易度	所要時間	引率者数	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
月光（ナイト）ハイク	班やグループごとに懐中電灯をもってコースを回る。事前の下見が必要。 ※手形の使用は利用者の判断	お宮コース	D	１時間	４人以上	懐中電灯	トランシーバー8台 地図 手形 ビブス	○ ※引率者への説明のみ	―
		竹やぶコース	C	30～45分	４人以上				
		森の家コース	C	30～45分	４人以上				

月光（ナイト）ハイクコース地図



◎所の周辺の固定施設での活動　（活動時期：主に春～秋）

活動名	難易度	活動の概要		所要時間	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
森の家作り	E	森の家広場で、木の枝や竹、草などを切り出し、立っている木を柱にして、ブルーシートなどを使って、「森の中の秘密基地」を作る。		4～5時間	軍手,かま,はさみ,ビニールロープ,ブルーシート,ごみ袋	竹引きのこぎり、なた	○	―
ザリガニ釣り **※実施可能か要確認**	A～	**利用可能時期【五月～十月】ただし、ザリガニ釣りは九月まで**	ザリガニ池で、竿の糸の先につけたクリップにえさをはさみ、ザリガニを釣る。	1時間	えさ(さきいか等)ごみ袋	釣竿、バケツ	○	―
池遊び（いかだ遊び、ターザンロープ、池ジャングル）	C D		活動場所：三楽池とその周辺 ※屋外シャワー、浴室更衣室を使用される場合は事前にご相談ください。	1～3時間	雑巾,タオル、着替え,足首固定のサンダル(水着)	古シーツ(ﾗｲﾌｼﾞｬｹｯﾄ：15着) いかだ：５台	○	―
桜村林間アスレチック（竹ジャングル、ブランコ、スラッグライン、ハンモック）	C D		桜村で、本所の竹や樹木を生かしたアスレチックで遊ぶ。	1～2時間	気候に合わせた服装	特になし	○	―
キャンプファイヤー	B～	活動場所：グラウンド、営火場 参考：令和７年の夏至６月21日日没19時13分ごろ		1～2時間	軍手 懐中電灯 着火具 CD等の音源	トーチ５本、バケツ、灯油、薪、女神等の衣装、放送機器	○ ※引率者への説明のみ	―

※舟作り・舟遊び、カヌー体験については、別途ご相談ください。

活動名	難易度	活動の概要		所要時間	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
自然観察	A	**通年の活動**	四季折々の花や草木の観察を行う。また、野鳥や昆虫など生き物を探し観察する。	1時間	季節に応じた野外活動の服装、雨具	木の実・木の葉マップ	―	―
木の葉 木の実拾い	A		所周辺にある木の葉や木の実を採集する。	1時間			―	―
呉羽丘陵散策	B		城山の尾根筋から、富山市街、立山連峰を望む。北側の丘から、新湊大橋、北陸新幹線等を望む。	2時間		WR用の地図等	―	―
雪像作り、雪遊び	A	**雪上の活動**	グラウンドや中庭で、雪をつかって雪像を作ったり、雪合戦をしたりして遊ぶ。	1～2時間	防寒着上下 手袋、帽子 雪遊びに適した履物	スコップ スノーダンプ バケツ	―	―
スノーチューブ そり遊び	B		斜面を使って、スノーチューブやそり遊びを楽しむ。	1～2時間		スノーチューブ そり ヘルメット	―	―

ザリガニ釣り

いかだ遊び

キャンプファイヤー

そり遊び

ターザンロープ

竹ジャングル

木の葉・木の実拾い

スノーチューブ

(3)　用具を使った活動

活動名（難易度）	難易度	活動の概要	所要時間	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
フライングゴルフ	C	自由にコース（1～9 ホール）を作り、各ホール何投でゴールの「かご」にフライングディスクを投げ入れられるかを競う。	1～2時間	筆記用具	ゴール用かご9個 ディスク 48 枚	○ ※引率者への説明のみ	—
グラウンドゴルフ	C	自由にコース（1～9 ホール）を作り、各ホール何打でゴールの「ホール旗」にホールインできるかを競う。	1～2時間		ホール旗9個 スティックとボール２０組	○ ※引率者への説明のみ	—
ストラックアウト	C	ストラックアウトボードを設置し、投球距離を決める。クリアした数や列の数で競う。	1～2時間	特になし	ｽﾄﾗｯｸｱｳﾄﾎﾞｰﾄﾞ 5 台 補給網 2 台 ボール	○ ※引率者への説明のみ	—
バンブーチャレンジ	A～	竹で作った道具を使って課題に挑戦したり、自由に遊んだりする。	1～2時間		竹を使った道具	○ ※引率者への説明のみ	—
イニシアティブゲーム	D	一人では、解決できない障害、課題をグループで話し合い、協力してクリアしていく活動	1～2 時間	筆記用具	各課題に必要な道具や障害物	○ ※引率者への説明のみ	—

(4)　野外調理　（※食材・薪は、別途注文が必要です。）

活動名	難易度	活動の概要	活動場所	所要時間 最大人数	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
ごはん（米） カレー 焼きそば 豚汁	B C C C	薪で火を起こし、かまどやU字溝を使って調理を行う。	野外炊飯場 (U 字溝 20 台 レンガかまど) 南テラス (U 字溝 8 台)	2～4 時間 野外炊飯場 ：100 人程度 南テラス ：50 人程度	軍手 火付け用新聞紙 箸・スプーン 着火具、 食器用洗剤 スポンジたわし 台ふき ふきん ゴミ袋	野外調理道具 貸出用食器 ※使い捨て容器持参可	○	－
うどん作り	D	中力粉から生地を作る。その後、延ばした生地を麺切り包丁で切って茹でる。	1 階ホール 南テラス	3～4 時間 70 人程度	箸 食器用洗剤 スポンジたわし ふきん ゴミ袋	道具一式 貸出用食器 ※使い捨て容器持参可	○	○
ピザ作り	D	中力粉、塩、砂糖、ドライイースト等から生地を作り、発酵させた後、生地をのばす。ソースと具をのせ、石窯で焼き上げる。 **※事前に窯を２～３時間温める必要がある。**	1 階ホール 南テラス	2～3 時間 1 窯：１６人 2 窯：３２人	着火具 火付け用新聞紙 食器用洗剤 ｽﾎﾟﾝｼﾞたわし、 ふきん ゴミ袋 アルミホイル クッキングシート 食品用ﾗｯﾌﾟﾌｨﾙﾑ 箸またはフォーク		○	○

※本所の野外調理道具や食器類は、汚れやすすをきれいに洗った後、水分をふき取ったのちに元の場所にお返し下さい。

野外炊飯棟

南テラス

石窯

(5)　館内活動

人数,組数,セット数,ルールの工夫等によって変わります

活動名	難易度	活動の概要（基本ルール・変更可）	活動場所	所要時間	利用者準備	自然の家備品	所員説明	所員指導
館内オリエンテーリング	C D	館内のいたるところあるポイント(25 箇所)を見つける。ポイントにある数字を使って、ビンゴゲームを楽しむこともできる。	館内の共用スペース(宿泊室内、○○室内にはない)	1～2時間	班編成班 筆記用具	解答用紙 バインダー ビブス	○	―
館内いきものオリエンテーリング	A B	館内のいたるところにあるポイント(20 箇所)を見つける。		1 時間				
クライミングウォール	C D	集会室に設置したクライミングウォールを登る。	集会室常設ウォール 4 面	任意	練習時間や対戦相手等を事前に計画する。	ヘルメット マット	○	―
ペタンク	D	2 チーム（1 チーム 6 人）に分かれ、それぞれのボール（赤・青）を黄色の的に近づけるように投げる。最終投球後に的に最も近いボールを配置したチームが勝ち。	集会室 ホール など	1～2時間		ペタンク道具一式 7 セット	○ ※引率者への説明のみ	―
フロアカーリング	D	2 チーム（1 チーム 3 人）に分かれ、それぞれのストーン（赤・黄）を交互に投げる。最終投球後に的に最も近いストーンを配置したチームが勝ち。	集会室 ホール など	1～2時間		フロアカーリング道具一式 3 セット	○ ※引率者への説明のみ	―
スラックライン	A ～	ベルト状のラインの上で行う低く短い綱渡り。	集会室 など	任意	特になし	スラックライン 1 台 ヘルメット	○ ※引率者への説明のみ	―
キャンドルサービス	A ～	ろうそくの炎を見つめてセレモニーをしたり、レクリエーションをしたりする。	集会室 1 階ホール	1～2時間	CD 等の音源 着火具 ろうそく（大） ろうそく（小）	燭台(大 1 台、小 1 台、手持ち 130 個程度)、女神等の衣装、ブルーシート、放送機器	○ ※引率者への説明のみ	―
ＤＶＤ鑑賞		任意	集会室 など	任意	メディア DVD	プロジェクタースクリーン 再生用 PC	―	―

館内オリエンテーリング

クライミングウォール

ペタンク

フロアカーリング

スラックライン

キャンドルサービス

(6)　クラフト

①　木の枝や実を使ったクラフト（活動費有り）

活動名	難易度	活動の概要	活動場所	所要時間 最大人数の目安	利用者準備	自然の家備品等	所員説明	所員指導
ペンダント	A	木の枝を輪切りにしたものにひもを通し、ホットボンドを使って木の実や木の葉をつける。	集会室 ホール など 活動場所は 要相談	1時間 １００人程度	（必要に応じて） 軍手 作品を持ち帰るための箱や袋等	木の枝を輪切りにしたもの 木の実、木の葉など ホットボンド （延長ｺｰﾄﾞ）	○	―
置物	B	木の枝を輪切りにしたものに、ホットボンドを使って木の実や木の葉をつける。					○	―
壁飾り	B	ひものついた木の枝に、ホットボンドを使って木の実や木の葉をつける。					○	―
木のｷｰﾎﾙﾀﾞｰ	A	金具がついた輪切りの木の枝に油性ペンでイラスト等を描く。				金具がついた輪切りの木の枝 油性ペン 水性ペン	○	―

②　竹を使ったクラフト（活動費有り）※【雨天プログラムのみ】の利用申し込みはできません。

竹の器 （４月～１１月）	D E	自然の家周辺の竹を、のこぎりを使って節ごとに切り、器の形に整える。	野外 南テラス 集会室 など 活動場所は 要相談	2～3時間 【器・竹ぽっくり】 ３０人程度 【箸・竹とんぼ】 １００人程度	（必要に応じて） 軍手、紙やすり	竹引きのこぎり なた、 小刀 やすり　など	○	○
竹の箸 （通年）	D E	自然の家周辺の竹をなたで割ったり、小刀で削ったりして箸の形に整える。						
竹ぽっくり （４月～１１月）	D E	自然の家周辺の竹を、のこぎりを使って節ごとに切り、ひもを通す。				竹引きのこぎり ビニールロープ 電気ドリル など	○	○
竹とんぼ （４月～１１月）	D E	自然の家周辺の竹を、なた、小刀を使って、竹とんぼの羽の形に整える。				竹引きのこぎり なた、小刀 やすり　など	○	○

③　その他のクラフト（活動費有り）

スプーン 竹とんぼ	B ～	アイスクリームスプーンを火であぶってひねり、ホットボンドを使って竹串と接着する。	集会室 ホール など	1時間 １００人程度 活動場所は 要相談	軍手	ｱｲｽｸﾘｰﾑｽﾌﾟｰﾝ アルミホイル 竹串、ろうそく、ホットボンド、油性ペン、水性ペン	○	○
まが玉	C ～	専用の石にひもを通す穴を開け、ブロックややすりで削って、まが玉を製作する。	野外 南テラス など	2～3時間 １００人程度 活動場所は 要相談	軍手 新聞紙 （1人1枚程度）	ブロック、敷板、きり、棒やすり、紙やすり、油性ペン、水性ペン	○	○

ペンダント

置物

壁飾り

キーホルダー

まが玉